

臨床と研究の両者の視点によって書かれた待望の1冊!

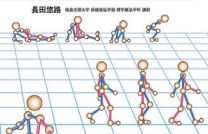
脳卒中片麻痺の 基本動作分析

バイオメカニクスから考える
動作パターン分類と治療法の選択

著者 長田 悠路 徳島文理大学 保健福祉学部 理学療法学科 講師

脳卒中片麻痺の 基本動作分析

バイオメカニクスから考える動作分析(パート)分類と治療法の選択



「動作分析はこうしたら臨床の役に立つのか」、長年考えてきた疑問に長田医師が答えてくれました! (山本孝子氏、徳島大学大学院 理学療法学専攻 准教授) 豊富な臨床データが語る知識は、多くのセラピストの疑問や悩みを解決する金庫を開いてくれる宝庫だ!

今すぐ上から読みたい! 全部読みたい! 早く読みたい!

著者のオリジナル学習シートに付き、**贈呈!**
MEDICALVIEW

定価 5,940円

(本体 4,400円+税10%)

B5判・232頁・オールカラー

イラスト150点、写真300点

ISBN978-4-7583-2015-3

複雑・難解な片麻痺患者の評価・治療を
動作分析の視点からフローチャートで提示

脳卒中片麻痺患者の動作分析と治療法について「寝返り」「起き上がり」「起立」「歩行」等の基本動作をバイオメカニクスの観点から解説。動作分析の視点から提示する評価・治療のフローチャートによって、臨床の場で動作をどのように解釈し治療につなげるかを具体的に学ぶことができる。

